

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		ひとり親家庭等医療費助成事業費 [ひとり親医療費助成事業]									
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	5	母子福祉費	事業番号	5
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名		子育て支援課 手当・助成係						課長名		新海 隆弘	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施 策 番 号		2 - 4		
【施策名】 児童福祉の推進							総 合 計 画 書 (ページ)		59		
この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 18歳に達した日以後の最初の3月31日まで（規則で定める程度の障害を有する場合は20歳未満）の児童を養育するひとり親家庭等の保護者とその児童 ※生活保護受給者を除く				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 市内在住のひとり親家庭等の世帯数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ひとり親家庭等の保健の向上と、福祉の増進				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 受給世帯数						
	③ そのために何をしましたか。 ①申請受付 決定後 ②所得調査 ・現金給付、現物給付処理 ③審査 ・更新処理・医療証送付 ④決定・医療証送付 ・消滅処理				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 延べ医療費助成件数						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	不明	不明	不明					
	成果指標	②の数値	件	623	610	611					
	目 標	②の目標値									
		目標値設定の考え方									
活動指標		③の数値	件	16,203	15,685	15,556					
3 経費	事 業 費（実績）		円	39,021,056	37,850,174	37,430,590	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外）年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）				
	財源	一般財源	円	11,688,056	11,319,174	11,230,590					
		特定財源	円	27,333,000	26,531,000	26,200,000					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.6	0.6	0.6					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	4,951,800	4,946,400	831,000					
		職員人件費(再任用)	円	0	0	0					
事業費＋人件費		円	43,972,856	42,796,574	38,261,590						
4 環境変化等	(1) 開始年度		H2 年度								
	(2) 環境の変化		平成2年4月施行 ひとり親家庭に対する医療費助成について、都議会での質問や、都内の母子家庭団体からの強い要望があった。								

事業名称	ひとり親家庭等医療費助成事業費 [ひとり親医療費助成事業]			
担当部署・課長名	子育て支援	課	手当・助成	係 課長名 新海 隆弘

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ・市民の方から、受給中の方が受給資格がないのではないかという通報が寄せられることがあるが、そのたびに該当者に対して聴取や訪問を行い、適正な受給に努めている。 ・年度更新時に、次年度において所得制限超過が予想される世帯には、事前に資格が喪失する旨を通知している。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（2）を転記） 特になし			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 特になし			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 特になし			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 児童福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 適正な窓口受付、事務の執行			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 特になし			